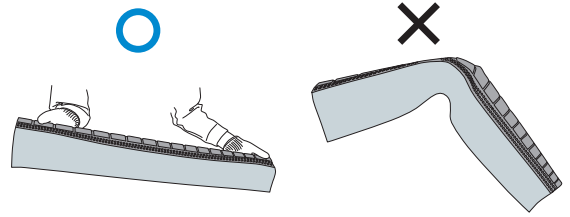


下地や床材の種類によって工法・専用接着剤は異なります。詳細は別紙「工法」の表でご確認ください。
(記載内容以外の工法での施工トラブルは、原因説明ができませんのでご相談には応じられません。)

◇施工の前に

- コネクトステップが折曲がり、段鼻部が変形すると、施工後に亀裂が発生する恐れがあります。コネクトステップを移動・張り付ける際は、折曲げないように十分に注意してください。

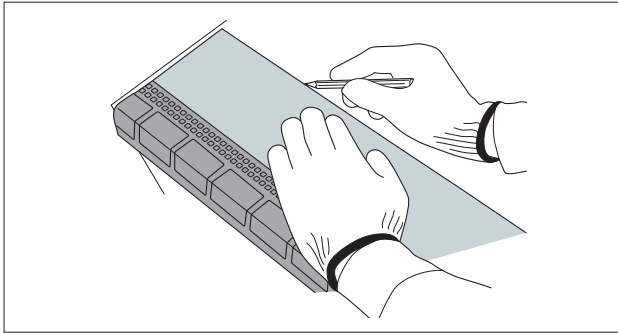


1. 下地の確認・清掃

- 下地に割れ、欠け、極度の湾曲がある場合は施工できません。補修を行ってください。
- 砂・塵埃などを除去してください。

2. 裁断とけがき

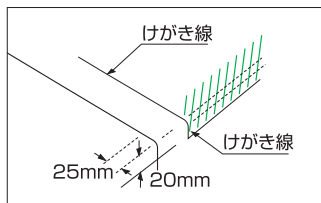
- スケール・直定規で階段の巾寸法を測定し、タキシール#600仕上げ代として排水溝側は5mm以上、壁際は3mm程度の隙間が空くように裁断してください。
- ※平鋼板製階段の場合、タキシール#600がササラ面にかからないように、端部に隙間を空けてください。
- 仕上げ寸法に裁断後、コネクトステップを施工する位置に仮敷きし、下地に鉛筆等で仕上げ線をけがいてください。



3. 下地用プライマー液(タキボンド#625)の塗布

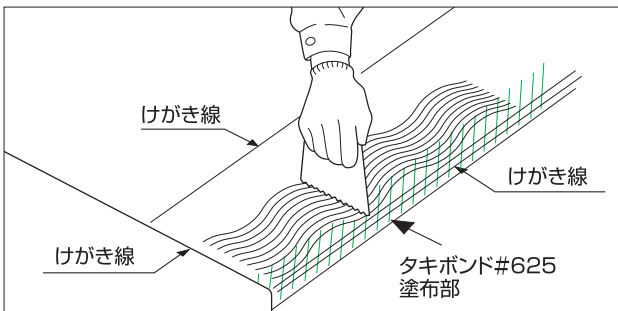
※平鋼板製階段に施工する場合は、プライマー タキボンド#625(別売)を購入してください。

- 図のように下地斜線部に(端部を開けて貼る場合は、けがき線より5~6mm広く)タキボンド#625をハケで均一に塗布して20~30分間乾燥させます。
- タキボンド#625塗布面は汚さないように注意してください。また、1日以上乾燥させないでください。



4. コネクトステップ張り付け部への接着剤(タキボンド#607・#701・#601)塗布

- 図のように床用接着剤(タキボンド#607・#701・#601)をタキボンド#625塗布部と重なるようにクシ目ゴテで均一に塗布し、オープンタイムを20~30分程度取ってください。
- オープンタイムが短いと、初期の接着力が発揮されないため、コネクトステップにズレが生じる場合があります。

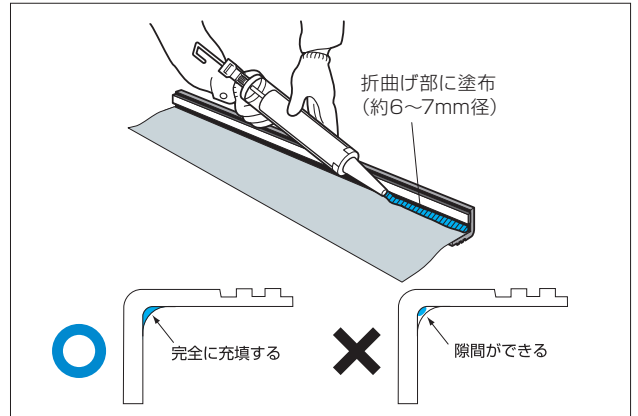


5. 両面テープの剥離紙の剥がし

- コネクトステップ裏面に貼り付けてある両面テープの剥離紙を剥がしてください。

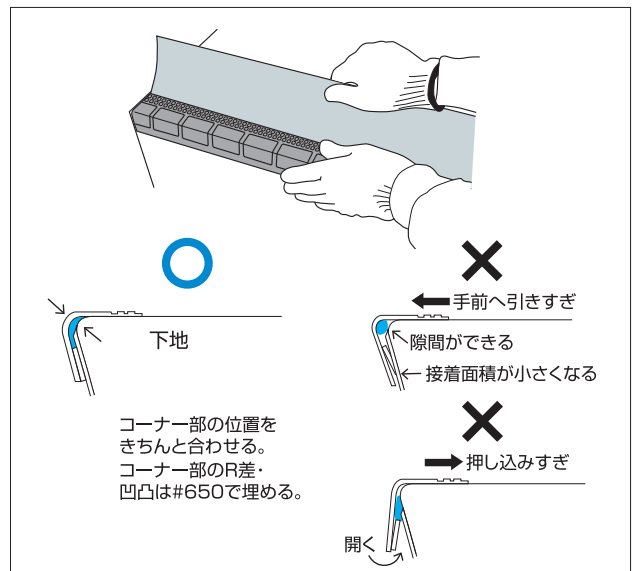
6. 段鼻充填用接着剤(タキボンド#650)の塗布

- コネクトステップ裏面の折曲げ部(段鼻部裏面)にタキボンド#650を、コーキングガンで約6~7mm径の太さで均一に塗布してください。
- タキボンド#650を塗布しなかったり、塗布量が不十分の場合、段鼻部に亀裂や剥離が発生する恐れがありますので、注意してください。
- 下地の状態が悪く、付属品だけで数量が不足する場合には、別売品を追加購入してください。



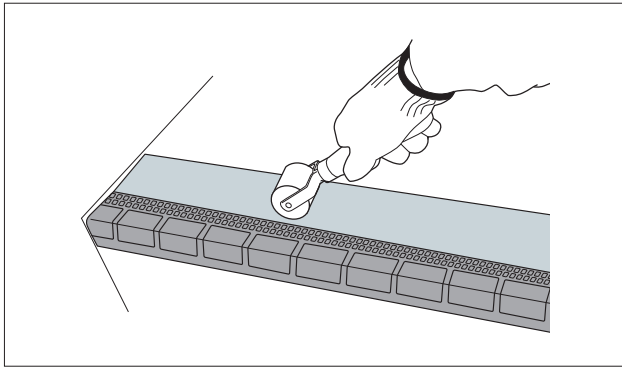
7. コネクトステップの張り付け

- 次に、コネクトステップの折曲げ部を階段の曲がり部(段鼻部)にあてがい、下地とコネクトステップ折曲げ部との間に空洞が生じないように注意して張り付けてください。その際、段鼻部が折れ曲がらないように、また段鼻部を奥に押し込みすぎないように注意して張り付けてください。
- 蹴込み面端部と段鼻部端部にズレが生じた場合は、直定規で直線に仕上げてください。



8. 圧着

- コネクトステップ全面をハンドローラーで十分に圧着してください。**タキボンド#650を塗布した折曲げ部は圧着しないでください。**(圧着すると、タキボンド#650が流動し空洞が生じます。)



9. シートの張り付け

- シートに柄がある場合コネクトステップとの継目は柄模様の目地部で行うよう割り付けてください。

注意

- コネクトステップのフィルムをカットしないよう注意してください。カットした場合コネクトステップの脱落や剥離が発生する恐れがあります。
- フィルムをカットしないよう、下敷き材として梱包用ダンボール等をお使いください。

- 床用接着剤(タキボンド#607・#701・#601)を廊下・踊り場用シート張り付け部にクシ目ゴテで均一に塗布し、オープンタイムを取ってください。

注意

- コネクトステップのフィルム上にも接着剤を塗布してください。

- タキストロン施工手順に従って廊下・踊り場用シートの張り付け・圧着を行ってください。

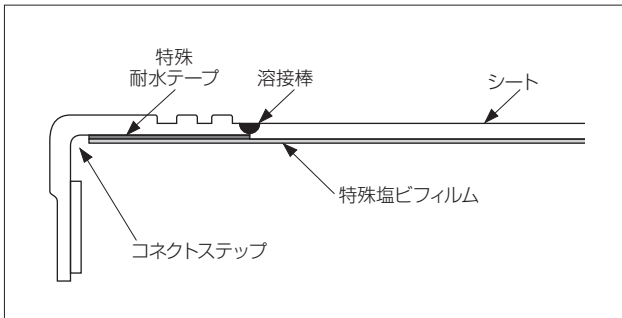
10. 継目処理

溶接工法

- (1)接着剤が完全に硬化してから溝切り機等でシート厚みの2/3程度の深さでU字溝を設けてください。
- (2)熱風溶接機(ライスター)でタキストロン床溶接棒を熔融させながら溶接ビードができる程度に溶接してください。
- (3)タキストロン床溶接棒が冷えてから余盛部を溶接棒トリマー等で平滑に仕上げてください。

溶接条件の目安

設定	アナログ	6~7
	デジタル	400~500℃
スピード	1~2m/分	



シール工法

養生が可能な場合は、タキシール#600を使用することも可能です。但し、以下につきまして十分に注意してください。

※養生期間を2~3日間設けてください。

※タキシール#600の仕上がり面は、硬化後多少の痩せが生じます。

※タキシール#600は、タキストロン全色には対応していません。

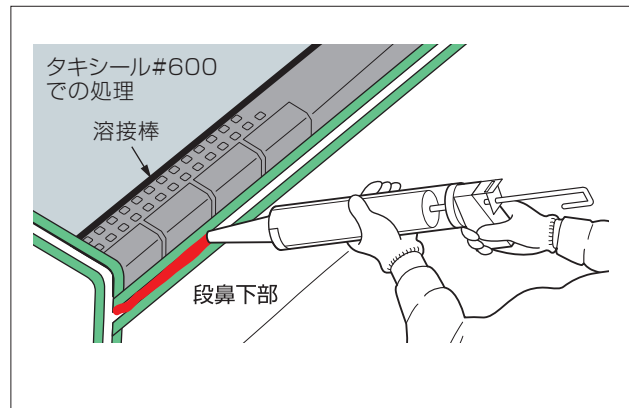
※コネクトステップ張り付け後、雨水が浸入するまでに端部仕上げを行ってください。

11. 端部処理

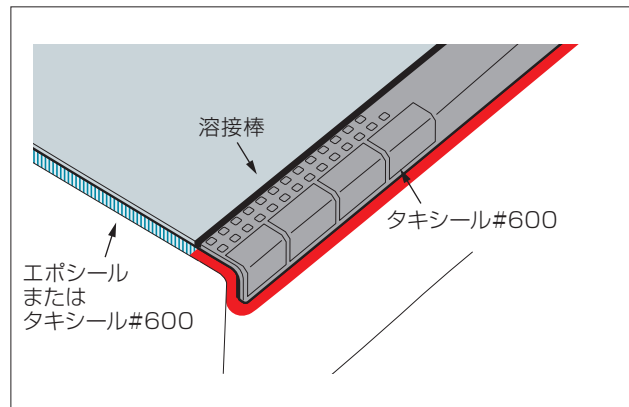
- コネクトステップ、及びタキステップの全周にマスキングテープ養生し、タキシール#600の中が5mm以上になるように仕上げへらなどで端部処理を行ってください。

- マスキングテープは仕上げ後直ちに取り除いてください。

※平鋼板製階段の場合、タキシール#600がササラ面にかからないように、隙間を空けて、踏み面端部で処理してください。



<D3シリーズ・DMシリーズの場合>



12. 養生

- コネクトステップ施工・清掃後、タキボンド#650・タキシール#600が硬化するまでは歩行をできるだけ控えてください。

- 特に段鼻部はタキボンド#650が流動したまま硬化しますと、**亀裂や剥離が発生する恐れがありますので、注意してください。**

注意

- 平鋼板下地につきましては、十分な防錆処理(ケレン・錆止め・上塗り)を施してください。
- 下地に防水層がある場合は、カッターナイフ等で傷を付けないようにしてください。
- 端部処理は全周行うことを標準工法としております。